

平成 30 年 1 月 15 日

響灯小町祭をご支援頂いている皆様
ぷち響灯小町祭@いち参加者の皆様

響灯小町祭準備会
〒010-8621 秋田大町郵便局 私書箱第 2 号
info@kyotokomachi.net

ぷち響灯小町祭@いちにおける発煙事故に関して

平素は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、今般弊会が主催し、平成 29 年 8 月 6 日に行われたイベント「ぷち響灯小町祭@いち」の開催中、使用していた秋田県 JA ビル 9 階 日本間に於いて発煙事故が発生し、参加者の安全確保のためイベントを一時中断いたしました。

本件に関しまして、参加者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛け致しましたことを深くお詫び申し上げます。

本件の詳細につきまして、イベントを主催する響灯小町祭準備会（以下、弊会）と秋田県 JA ビルを管理する秋田県農協共済株式会社（秋田県秋田市八橋南二丁目 10 番 16 号 以下、秋田 JA 共済株）は密に連携を取り、原因究明と当日の状況についての確認を行ってまいりましたが、この度それらの確認と対応が終了致しましたので、以下皆様に報告させていただきます。尚、記載されている日付に関しましては、特記ない限りは平成 29 年となっております。

記

1. 事故概要について

- A. 事故種類 発煙事故
- B. 発生日時 平成 29 年 8 月 6 日（日）午後 2 時 15 分頃
- C. 発生場所 秋田県 JA ビル（秋田県秋田市八橋南二丁目 10-16） 9 階日本間
（当日は関連団体 MixMinigameBattle[MMB]企画のゲーム大会が開催されておりました）
- D. 事象 破裂音とともに天井のシーリングライト付近から発煙

2. 当日の状況について

- ア. 当日午前 10 時 30 分よりゲーム大会「響灯遊戯会」を 9 階日本間にて開催。「Wii U」を用いて「大乱闘スマッシュブラザーズ for Wii U」で参加者が対戦を行うものであった
- イ. 午後 2 時 15 分頃事象が発生。尚この直前、壁面に設けられていたコンセントから給電していた「Wii U」とモニターへの給電が切れた
- ウ. 事象発生直後、MMB メンバーで安全確保のため日本間へ参加者を避難誘導するとともに、MMB 主催兼弊会員が大ホール内の館内本部に報告

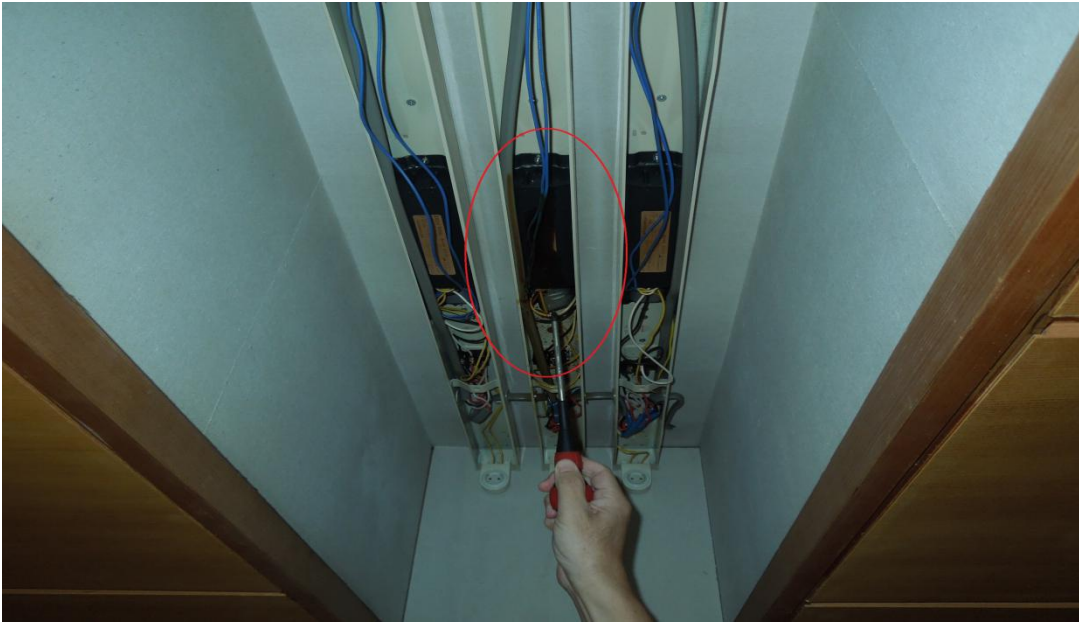
- エ. 館内本部が事象を確認後、総合受付の弊会代表に報告（尚、この際「Wii U」とモニターへの給電上流に接続していた弊会所有の過負荷・漏電遮断器[後述]は「入」状態であった）
- オ. 弊会代表、状況を確認 JAビル管理室に報告
- カ. 報告後、イベントに参加しているすべての参加者を9階ロビーに避難誘導開始
- キ. 午後2時30分前後に秋田県農協共済株式会社の職員が到着 ロビーの参加者に状況説明
この時点よりエレベーター利用の制限を実施
- ク. 9階第一小会議室を利用していた男性更衣室を第三小会議室へ変更。第三小会議室を利用中の女性参加者更衣終了をまってすべての荷物を移動
- ケ. 午後2時50分大ホールの安全確認終了 サークルのみ撤収許可
- コ. 午後3時エレベーター安全確認終了 エレベーター利用許可
- サ. 午後3時10分日本間以外のすべての安全確認終了
イベントの続行可否について準備会員による緊急会議
- シ. 午後3時15分参加者への状況説明と、イベントの続行可否について全参加者へのお伺い
この時点よりイベント再開
- ス. 午後3時30分即売会終了

3. 事故原因について

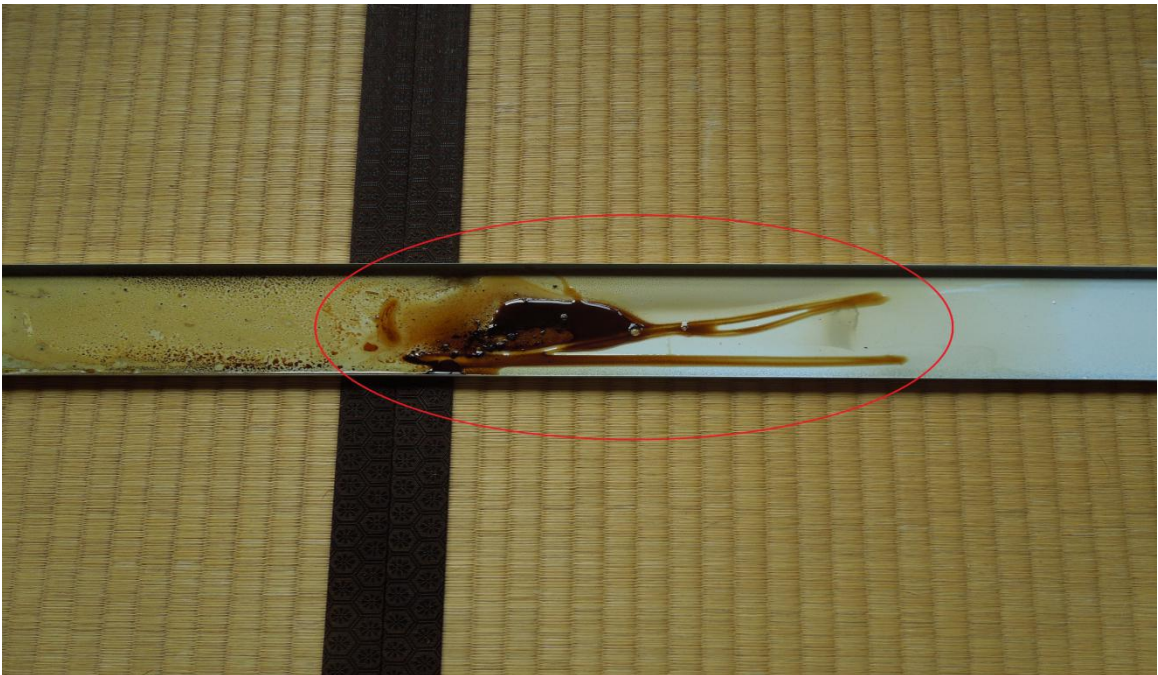
秋田県農協共済株式会社が原因調査（8/8実施）を行ったところ、日本間の天井に設置されたシーリングライトの最も入口側に設置されている三連蛍光灯のうち1基に於いて、蛍光灯灯具内の安定器が焼損していることが確認されました。（以下3枚の写真は秋田JA共済(株)から提供）



（当該灯具全景）



(当該焼損部分拡大)

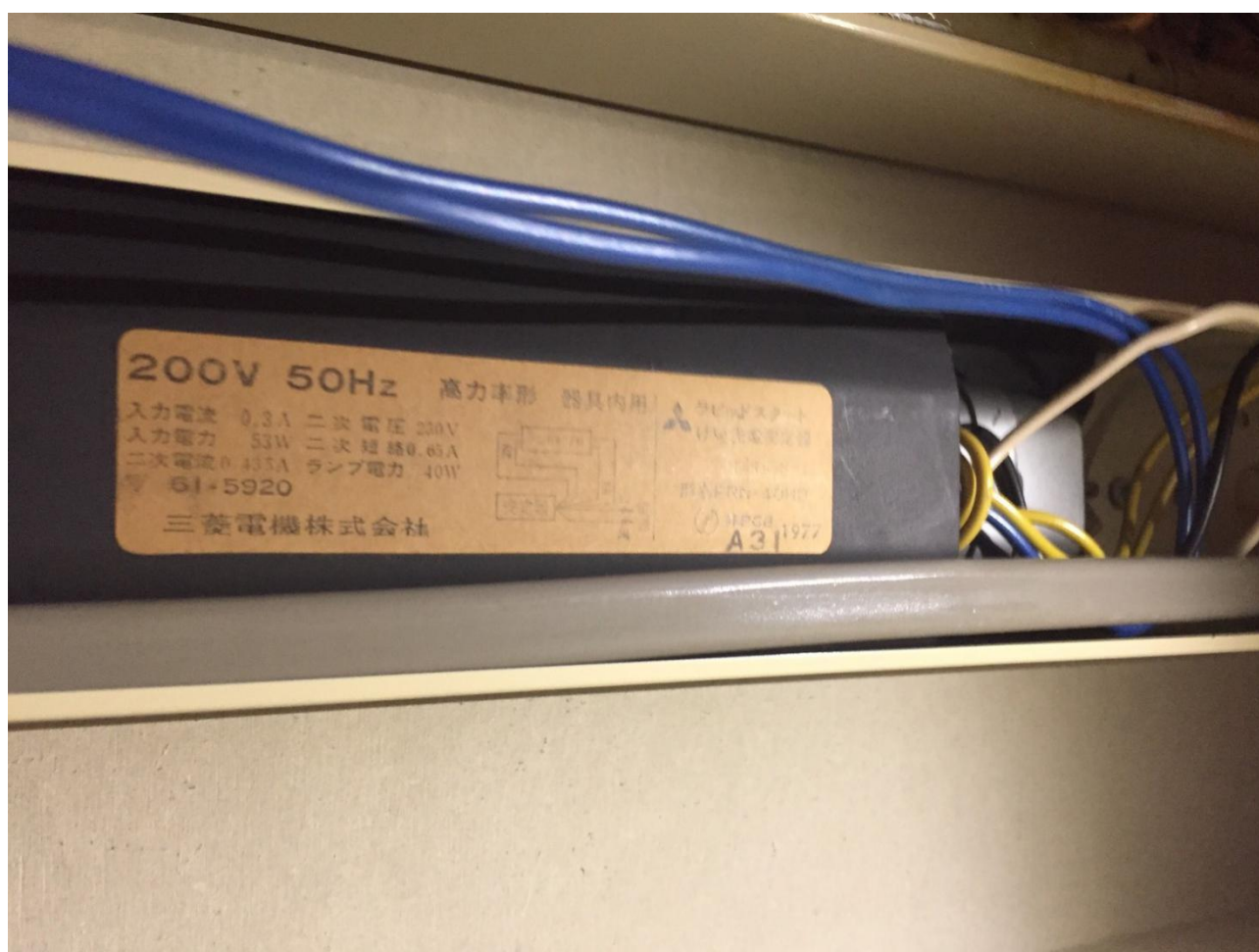


(安定器焼損による灯具への液漏れ拡大)

弊会では秋田 JA 共済(株)からの報告を受け、第二種電気工事士の資格を持ち、電力関連の事業所に勤務する、知見のあるスタッフが対応しています。

弊会に於いて、状況に鑑みて考える事故原因について以下のようにまとめました。

- 発煙は上記焼損の安定器から発生したものと考えられる。
- 安定器は劣化すると、内部の絶縁機能が低下して発煙や発火の原因となる。
- 安定器の耐用年数は法的には 15 年だが、JIS 規格では 10 年が交換の目安である。
- 秋田県 JA ビルは昭和 52 年（1977 年）築で、築年数は 40 年である。
- 並行設置されている灯具の設置状況・ラベル・焼けの状態を鑑みるに現在設置されている灯具は秋田県 JA ビル竣工の際に取りつけられた灯具だと考えられる。
- 安定器の焼損は安定器自体の経年劣化に起因するものであると考えられる。
(当該焼損灯具の隣の灯具 右下の製造年が 1977 年であることが解る[弊会撮影])



秋田県 JA ビルは全国共済農業協同組合連合会全国本部（JA 共済連）の所有物であり、その秋田県本部（全国共済農業協同組合連合会秋田県本部 JA 共済連秋田）の子会社たる秋田 JA 共済㈱が管理しています。貸館業務を行っているフロアにおいては施設の灯具更新を順次行っていましたが、日本間のみ使用頻度が少ないことから平成 29 年度後半から 30 年度前半に灯具更新を行おうとしていた矢先の事故でした。

結論として、灯具が経年劣化により通常使用に耐えない状況にあり、今回の事故が発生したと言えます。

尚、今回の事故に関し、秋田市消防本部秋田消防署予防担当の現場確認が入っています。（9/5）

4. 対策

弊会ではイベント会場における業務や企画上使用する電力系統について、電源事故を防止するため、平成 28 年に日動工業株式会社製 過負荷・漏電遮断器「プラコンインポッキングブレーカ PIPB-EK-N」を二台導入し、それらを経由した電力を原則利用しています。今回の事故の発生場所となった日本間において使用されていた持ち込みの電子機器に関しては、この遮断器を経由して給電していました。

又、事故事象発生時に遮断器が「入」のまま固定されていたため、安定器焼損の遠因として電気系統に対する持ち込み電子機器による過負荷や漏電が発生していたとは考え難いです。

以上から弊会としては電力事故に関し事前に考えうる対策をしていたと考えています。今後もイベント開催時は引き続き電源事故防止のため遮断器の導入を徹底し、必要に応じ追加で遮断器を導入することを検討しています。

又、秋田 JA 共済㈱へ弊会を含めたすべての貸館利用者に対する安全確保の観点から、耐用年数を過ぎているすべての灯具の交換と再発防止を強く訴えます。

秋田 JA 共済㈱では、会場を所有する JA 共済連に修繕を実施する要請を 8/9 付で行いました。8/17 に JA 共済連の担当官の視察を受け、9/7 付で器具更新工事が確定しています。

9 月下旬～10 月中旬に施工し、当該箇所を含め修繕されると報告を受けております。

又、当日の事故発生時の秋田 JA ビル職員による施設利用者に対しての避難誘導や各種施設安全確認に関して不備があったことに関し、弊会は秋田 JA 共済㈱より謝罪を頂いています。

（これらに関しては別途秋田 JA 共済㈱より皆様にお知らせがございますのでご参照ください。）

この度は、参加者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛け致しましたこと、また本日まで皆様にご連絡が遅くなってしまったことを、重ねてお詫び申し上げます。今後はこのようなことがなきよう、準備会一同誠心誠意努めてまいりますので、今後とも変わらぬご厚誼とご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

尚、当件に関してのお問い合わせは

info@kyotokomachi.net

(担当: 小野寺・永坂)

までお願い致します。